

FUKUCHI

No.162
June

広報ふくち



2019
6

Be a rescuer.

常に「救助者」であるために ―。

大会を目指し、競技種目「ロープブリッジ救出」の訓練に励む田川地区消防の朝部翔太さん（伊方：写真手前）と藤村祐人さん（上野）。救いたい命のため、そして自らを守るため、日々の鍛錬と研さんを重ねています。

雨

平穏な日常を脅かす災害の恐怖。
命をも落としかねないまさかの時は、
前触れもなく突然訪れます。
この町も決して例外ではなく、
幾度も危険にさらされています。

問題が広範囲で同時多発的に、
前触れも無く起こる非日常の状況下、
自身を守るのは日常の備えと意識。
今月は2度に渡る「九州北部豪雨」で
未曾有の災害を経験した朝倉市から、
「命を守る」ための教訓を学びます。

取材協力、写真提供
・西日本新聞社
・田川地区消防署 本署／金田分署
・松末地域コミュニティ協議会

迫った最大級の危機

平成30年

西日本豪雨



観 測史上最大、町内で7月5日から3日で前年7月の倍以上にあたる降水量423 mmを記録した昨年の豪雨。町初となる最大級の警報「避難勧告」が発令され、252人が避難する事態となりました。神崎地区の広範囲が冠水、赤池の草場地区では住宅2件が孤立するなど、死者のいないことが幸運と呼べる大災害を経験しました。

あの日を忘れない

平成21年

上弁城土砂災害



記 録的な大雨が各地で水害や土砂災害を引き起こした「中国・九州北部豪雨」。町でも豪雨が3日間にわたり降り続き、土砂崩れで民家2棟が崩壊、5人が生き埋めとなり、うち1人が尊い命を失いました。あの経験と教訓を永久に忘れないよう、7月24日は「防災の日」に制定され、毎年黙とうがさげられています。

突如襲った恐怖

平成15年

7.19 ゲリラ豪雨



未 明から突如激しさを増した雨は、国土交通省上野観測所で午前2時からの4時間で161ミリの降水量を記録。短時間で年間平均の1割にあたる雨がたたぎつきました。道路は土砂で寸断、低地は水没。嘉穂劇場も被災したこの雨で、土砂崩れ81か所、家屋半壊5棟、床上床下浸水83棟の甚大な被害を町にもたらしました。

九州北部豪雨

○ 県南山間部を襲った未曾有の災害

平成29年度

人的被害35人、家屋1,400件以上、朝倉市に過去最大級の被害を与えた2年前の「九州北部豪雨」。朝倉市街と東峰村の間に位置する、朝倉市の山間部・松末地区を襲った災害の恐怖と、復興を目指す地域の声をお伝えします。

朝倉市松末地区 24時間の実録

7/5

○ 午前10時15分
不安のよぎる朝

市全体のJアラートのテストに合わせ、松末地区では自主的に避難訓練を予定していた。しかし連絡の無いままテストは中止。伊藤会長は連絡体制に不安を感じていた。

○ 午前12時過ぎ
バラバラと降雨

○ 午後5時～6時
観測史上最多の雨量

○ 午後3時40分
届かなかった無線放送

伊藤会長は地区全域へ防災無線で避難を呼びかけ。しかし送信所は故障しており、無情にもその声は届いていなかった。

○ 午後3時
途切れない強い雨

雨あしはみるみる強まり、水は田んぼの畦を越え、橋の近くまで迫った。危険を感じた伊藤会長は、協議会職員に帰宅を指示。高齢者などの安否確認を実施。

○ 日没後
眠れない夜

松末小学校の避難者は約50人。建物の2階まで迫る水に、不安と恐怖を感じながら、励まし合い、一晩を明かした。

○ 翌朝
雨脚が弱まる

○ 午前10時
決意の避難

極度の緊張から限界を迎えた子どもたちのため、伊藤会長は学校からの移動を決断。より安全な避難所へ向かうバスを目指し、崩落した道を徒歩で進んだ。

嵐が過ぎて

自分の家が分からないほどの甚大な被害。「空爆の跡のようだ」と言われたほど田園風景は一変し、変わり果てた古里の姿に、住民は立ち尽くした。松末の奥地、乙石地区では家屋が流され、尊い命が失われた。

想定を超える災害の恐怖
「からぶり」でも早期避難を

「平成24年にも豪雨を経験しましたが、一部地区が孤立するなど危機はあったものの、人的被害が無かった。『今回も大丈夫』、その根拠の無い自信が私たちの判断を誤らせたのかもしれない」と伊藤会長は振り返ります。「一生に一度の大雨と呼ばれる平成24年の1時間最大降水量は約60mm。しかし平成29年は約130mmにも及びました。『想定外を想定すること。準備に上限はありません。早期の避難が『からぶり』になっても、それで良かった』と思える意識が大切です」。

災害時には住民の安否確認を行い、松末小学校への避難を主導。被災後は避難所で住民の困りごとを市に伝えるなど奔走し続けた伊藤会長。行政との意見交換会を企画するなど、情報共有に腐心してきました。「将来の展望を知ることが希望になる。住民の思いが反映された復興を実現し、住みやすい地域を取り戻したい」と前を向きました。災害から2年、全住民の願う復興への道のりは今も続いています。

昨年の教訓糧に 福智町ハザードマップ更新

昨年福智町を襲った豪雨を受けて、ハザードマップを一新しました。被害の実情をもとに、より正確な危険箇所が掲載されています。この地図は避難における大きな指針の一つですが、危険とされている箇所以外でも警戒を怠らず、早めの避難を心がけましょう。新しいハザードマップは今月号の折り込みか、町公式ホームページからご確認ください。→



↑ 震災後、松末地区の乙石地域では地域住民がインターネットで寄付を募り実現したこいのぼりが掲げられ、2年目を迎えた。

○ 午後6時
松末小学校へ

会長の電話に「自宅に土砂が流れ込んでいる」と妻からの連絡。帰宅しようとしたが、土砂崩れや氾濫に恐怖を感じて帰宅を断念。警察官に促され、松末小学校へと避難した。



写真提供：西日本新聞社

全てを飲み込んだ濁流
6割の人が去っていった

「雨が過ぎ去ったとき、どこが自分の家か分からない。流れ込んだ土砂や流木で全てを失った人もいる。山間部における国内最大の災害ではないだろうか」2年が過ぎた今も残る災害の爪跡を、朝倉市の住民組織「松末地域コミュニティ協議会」の伊藤睦人会長は静かに見つめました。勾配のきつい谷間にある松末地区では、付近を流れる赤谷川

被害を受けた地区の一つです。災害前、地区には約250世帯が暮らしていましたが、今は約40%の100世帯にまで減少。「家屋被害がなくても、裏山の崩壊を恐れて避難を続ける人もいます。生活再建を目指しても、農業をできる土地や道具が全て流され、やむなく長年続けた稼業を捨て、都市部に転職した人も大勢いる。時間がかかるほど、地元を去る人が増えるのではないか」と伊藤会長は危機感をにじませました。

「家族、家、大切なもの、多くが失われた。被災しての2年間は苦悩の連続でした。しかし、どんなにつらくても災害を経験した者としての責任がある。ここで起きた悲劇を繰り返さないために、災害から得た教訓を伝え続けたい」と力を込めました。



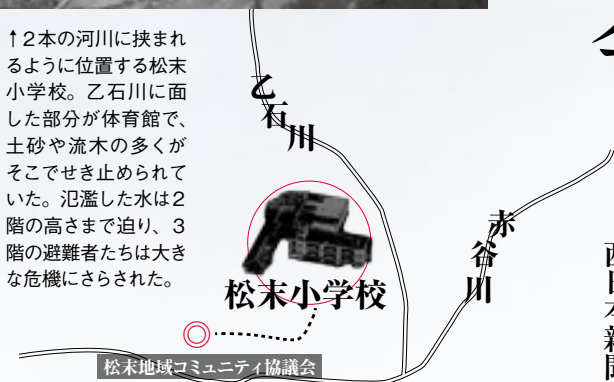
松末地域コミュニティ協議会
伊藤 睦人 会長



写真提供：西日本新聞社

孤立した校舎で

校舎を囲む2河川の氾濫で孤立した松末小学校。逃げ場をなくした避難者が生死の危機に直面した夜、西日本新聞・中川記者の実体験からその恐怖をたどります。



↑2本の河川に挟まれるように位置する松末小学校。乙石川に面した部分が体育館で、土砂や流木の多くがそこでせき止められていた。氾濫した水は2階の高さまで迫り、3階の避難者たちは大きな危機にさらされた。



↑5日の豪雨当時の校庭と(左)と翌朝の状況(右)。車両が土砂で埋め尽くされ、崩落した崖の様子が確認できる。(写真提供:西日本新聞社)



↑バスに向かわず松末小に残った避難者も、到着した消防隊員によって無事全員が救助された。

命を守る。そのために

幸運重なった危機からの脱出
雨で死ぬことを実感

「もし体育館がなかったら」――翌日、流木と土砂をせき止めた体育館を見て中川記者は言葉を失いました。昨日とは一変した風景。現実とは思えないその光景に誰もが立ち尽くす中、伊藤会長は全員を鼓舞し、歩ける人から避難所行きのバスへ徒歩で向かいました。その道のりは、地元消防団らにより土砂が取り除かれており、疲れきった中川記者ら避難者は迎えられました。

「あの時、誰もが被災者でありながらお互いに助け合い、支え合いました。そのことで多くの命が救われたのは間違いありません。孤立した私たちはなすすべも無く、救助を待つしか無かった。助かったのは幸運でした。そうならないためには、手遅れになる前に逃げるしかありません。取材した人や顔見知りも命を落とした。『雨でも人は死ぬ』ということを実感しました」と中川記者は振り返ります。

↑土砂と流木が流れ込んだ体育館(上)と校舎(下)。体育館がせき止めなければ、校舎も危険にさらされていた。



取り残された校舎で
死の恐怖迫った一夜

「朝倉では100ミリの雨が降ったようだが、様子はどうか」本社からの連絡を受け、当時西日本新聞朝倉支局長だった中川次郎記者は現場へ向かいました。

「地域のかたと、『5年前とどちらがすごいですか』など話したのを覚えています。まだ余裕があったのかもしれません」。しかし予想を超える豪雨に逃げ場を失い、松末小学校へと非難。水かさには2階にまで達し、校舎の3階で大人から子どもまで約50人が孤立しました。「子どもたちが『白い車』が流されている、人が手を振っていた」と声をあげたが、



西日本新聞社 筑豊総局

中川 次郎 記者

何もできない。空腹などは全く感じなかった。死ぬかも知れない、本気でそう思いました。極限の状況下でも、報道の責任を感じていた中川記者。「周りの人の電話は充電が切れ、私も仕事のために機器の充電は残しておきたかった。それでも業務用パソコンを開き、雨雲の動きを調べました。状況を知れば、周囲を励ませると思っただけです」。岩や木々のこすれ合う音、鳴り響く雷鳴、バケツをひっくり返したような雨の轟音。停電した暗闇で「もう少し、あと少し」と時が過ぎるのを待ち続けました。

一人の記者として
伝え続ける命の重み

無事に帰宅した翌日から現場へ向かったという中川記者。「実は筑豊への転勤が決まっていたのですが、会社にかけあい3か月残留しました。この災害を伝える義務があると思ったからです」。1週間以上休まずに、深夜まで被災地の実情を発信し続けました。「『いい経験をしたね』と言われたこともありませんが、そんな必要は絶対ありません。体験した人として



↑被災直後、黒板に残る浸水の跡。現在廃校となった松末小では、多くが当時ままの状態が残っている。

でない人ではどうしても温度差がある。記者として、一人の被災者として、その差を埋めていきたい」と力を込めた中川記者。朝倉市を離れた今も定期的に豪雨関連の記事を書き、警鐘を鳴らし続けています。

災害時に分かりやすい指標を内閣府が設定 防災情報に「警戒レベル」を新設

災害時に気象庁や公共機関が発信する情報に、5段階の「警戒レベル」が追加されました。今後は防災無線やエリアメールによる警報発令時は「警戒レベル4、避難開始」などレベルと避難情報が発信され、状況がより把握しやすくなります。災害時は情報が最も重要。早めの避難を心がけましょう。

警戒レベル	避難情報・とるべき行動
警戒レベル5	災害発生情報 すでに災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動が必要。
警戒レベル4	避難勧告 / 避難指示 (緊急) 災害の可能性が極めて高く、立ち退き避難を基本に行動する。困難な場合は近隣や建物内の安全な場所へ緊急避難。
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始 避難に時間のかかる人は避難開始。危険を感じた場合は自発的に避難する。
警戒レベル2	注意報 ハザードマップ等による避難場所や経路の確認・注意を行い、避難に備える。
警戒レベル1	警報級の可能性 防災気象情報の等の最新情報に注意を向け、災害への心構えを高める。

命を守る。そのために



↑人見地区の自主勉強会に南野救命小隊長とともに参加し、救命技術を講習。昨年の福智町防災講演会では当時を回顧し、言葉を詰まらせながらも体験した悲惨な実情を伝えた。

若いときは自分の手で全ての命を救う、そう思っていました。しかし救命に携わり20年、人の死を身近に感じ、後悔と悔しさを経験してきた中で、自分だけの力に限界を感じました。我々消防士には日々培っている技術と経験がある。一般のかたでも使える救命の術も知っています。私が伝えることが緊急時に少しでも役立ち、一つでも多くの命

持てる経験・技術・知識 伝えることで救う命

からない自然災害の前では、どんな経験も通用しません。親しい人の命を失ったとき、誰もが十字架を背負う。そうならないためにも、身を守ることを最優先に考えてください。

金田6区(人見)区長／福智町消防団長
松山 榮治さん

毎年雨期になると冠水の危機を迎える人見地区のために自主勉強会を行いました。過去に聞いた二場さんの言葉が強く心に残り、今回講師としてお招きしました。これをきっかけにさらに深く話し合い、地域防災に生かしていきたいです。



が助ければと今は考えています。

広域で同時多発する災害時、限られた人数の「公助」には限界があります。その時に生きるのが日頃からの備えである「自助」と、周りの助け合い「共助」です。しかし救助者が要救助者になることは絶対に避けなくてはけません。限界を知り、できないと判断したときは自分の命を優先し、我々を頼ってください。全力で救助に当たります。

過去の教訓を学び、生かしていくために 福智町防災講演会

過去の教訓を学び、生かしていくために

参加無料

毎年雨季を前に開催している「防災講演会」。今年は報道の立場から災害と向き合う九州朝日放送の太田祐輔氏を講師に招き開催します。この機会に、もう一度身近な防災について考えてみませんか。

日時 6月23日(日)
10:30 ~ 12:00

場所 福智町地域交流センター
(伊方4478番地1)

演題

「災害多発次代にKBCが自治体とともに取り組んでいること」

講師

KBC九州朝日放送株式会社
防災ネットワーク担当

太田 祐輔 氏

テレビやラジオで活躍し、アナウンス部長も経験。どうすれば一人でも多くの命を救う報道ができるのか、常に問いかけながら日々を過ごす防災部門の解説委員。

かけがえのない命のために
もう一度考えたい3つの「助」

災害時、情報の収集と共有は何よりも重要になります。高齢者や病気のかたなど、すぐに動けない人もいます。避難経路や連絡網を事前に地域で確認しておくこと、また住民間の意見を集約し、我々や行政など公的機関との情報交換を日頃から行うことで、命が助かる可能性は高まります。

災害が多発する昨今、3つの「助」について、もう一度考える時が来ているのかも知れません。私はいつも「近助」という言葉で地域が連携する

る重要性を伝えていきます。また常に最悪の事態を想定すること。増水時に田畑や川など見に行くのは絶対にやめてください。いざという時、命を守るのは人とのつながりと早めの避難です。そのことを決して忘れないでください。



↑昨年の福智町での豪雨時、町民からボートを借りた消防隊が救助を実施。これが共助の際たる例と二場さんは強調する。



↑朝倉市に派遣された消防職員たち。災害発生時には、全国から応援隊が派遣される。

災害発生からの72時間。これを過ぎると救命率は大幅に下がると言われています。平成29年の豪雨で、私は3日目に朝倉市へ派遣されました。生死の期限が迫るこの時間、私たちは主に行方不明者の情報収集そして捜索にあたりました。現場では、行方不明者の家族や知人もいます。みんな必死です。その中で「最後に安否を確認したのはいつか」「避難したようだがどのルートを向かったのか」など、傷ついた方々から聞くのは心の張り裂ける思いでした。

被害に遭った多くの残された家族が「早めに逃げておけばよかった。後悔している」と口にします。地震など違い、雨による被害は事前の予想ができ、早期の避難で必ず防ぐことができます。何が起きるかわ

命の期限、72時間の壁 最前線で見た被災地の現実

インタビュー／消防士／田川地区消防
金田分署所属 二場 祐介さん

救命の最前線から

常に救助者として、命と向き合い続ける消防士。災害時、どのように対応し、どう備えるか。朝倉市で悲惨な現実を目の当たりにした金田分署の二場小隊長に伺います。



二場 祐介 Yusuke Futaba
前任の田川地区消防本署所属時に、特別救助小隊長として朝倉市への災害派遣を経験。現在は金田分署消防小隊長として勤務。強い責任感と部下を思う指導で信頼も厚い。



少年の翼

「命どう宝」を学ぶ旅に“めんそーれ”

兄弟都市・沖縄県中城村との相互交流事業。沖縄戦跡をめぐる平和学習で命の尊さや平和の大切さを学び、首里城など名所への観光やホームステイを通して歴史や文化の違いを学習しよう。

日時 8月3日(土)～5日(月) (2泊3日)

場所 沖縄県中城村

費用 25,000円

対象 町内の小学5年生～6年生

申込 学校で配布される申込書を6月7日(金)までに生涯学習課(方城支所内)へ提出。

詳細情報をCHECK!
[QRコード]

新しい世界を「さあ」冒険しよう!

OKINAWA KOREA

福智町教育委員会 生涯学習課 社会教育係 ☎0947-22-1521 ※場合により日程の変更または中止となることがございます。あらかじめご了承ください。

日韓交流

「한녕!」国を超える“友情”に出会う旅

上野焼の開祖・尊楷ゆかりの地である「韓国泗川市」との国を超えた相互交流事業。言語・風習・食事など、日本では体験できないことを全身で学び、豊かな国際感覚と広い視野を養おう。

日時 8月9日(金)～11日(日) (2泊3日)

場所 韓国泗川市

費用 15,000円 ※バスポート取得費用(12歳未満・6,000円、12歳以上・11,000円)は別途負担となります。

対象 町内の小学5年生～6年生

申込 学校で配布される申込書を6月7日(金)までに生涯学習課(方城支所内)へ提出。

詳細情報をCHECK!
[QRコード]

町内の火災件数急増中 火の元にご注意

火災に関する注意喚起

建物・林野火災発生数は 昨年度の7件と比較して増加中。

空気が乾燥する中、昨年を大きく上回るペースで火災が発生しています。4月からの2か月で建物や林野で、大きな火災が4件続出。内1件では命が失われる事案も発生しています。また野焼きなどが出火原因の火災も発生しています。ものを燃やす行為は原則禁止です。法律により罰せられる場合もありますので、火の取り扱いには十分にご注意ください。

問 役場 総務課 消防防災係 ☎22-0555

インフォメーション & ニュース in FUKUCHI

Provide subsidies

地震発生時におけるブロック塀等の倒壊による被害を未然に防止するため、通学路・避難路等の道路に面した倒壊の危険のあるブロック塀等の撤去費用の一部を補助します。町内の高さ1m以上のブロック塀が対象。詳しくはお問い合わせください。

補助対象額 ▶ 上限 **10万9千円**
※1敷地あたり補助対象事業に要する経費の2分の1

対象者 ▶ 町内にブロック塀を所有または管理している方(法人を含む)

問 役場 総務課 消防防災係 ☎22-0555

補助制度で危険なブロック塀撤去にご協力を

危険ブロック塀撤去費用補助制度

近隣の安全確保のため、制度をご利用ください

rowsing status

福智町では開示請求に対し、情報公開制度、個人情報保護制度に基づき、公開の可否を判断しています。その判断の妥当性は、5人の外部委員により厳正に審査されます。平成30年度に行われた運用状況(請求件数・処理状況)は下記の通りです。

問 役場 総務課 庶務係 ☎22-0555

情報公開制度			個人情報保護制度		
情報開示請求件数	公開	6	情報開示請求件数	公開	2
	部分開示	0		部分開示	0
	非公開情報	0		非公開情報	0
	不存在	0		不存在	0
	存否応答拒否	0		存否応答拒否	0
	却下	0		却下	0
取下げ	0	取下げ	0		

▶ 両制度の不服申立て件数: 0件

情報公開制度		個人情報保護制度	
税務課	1	福祉課	2
診療所	1	民間と損害保険契約をしている全課	1

各制度の運用状況公表

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

人生の節目飾る成人式を自分たちの手で

令和2年度 福智町成人式実行委員募集

昨年は約7割が参加した成人式で、一生の思い出を作りませんか。

来年の1月12日(日)14時から地域交流センターで開催される本年度の福智町成人式の企画、運営を行う実行委員を随時募集しています。

対象 ▶ H11年4月2日～H12年4月1日生まれで、町内に住民票がある人および町内出身者。

活動 ▶ 成人式の企画・運営

募集人数 ▶ 12人程度(3校区、各4人程)

申込期限 ▶ 随時募集中

問 役場 生涯学習課 社会教育係 ☎22-1521

recruitment volunteers

議長就任のごあいさつ

この度、令和元年第1回福智町議会臨時会において、議長に就任しました矢野でございます。私自身、改選前からの引き続きとなり、誠に身に余る光栄であることは勿論のこと、同時に職責の重さを痛感している次第です。

さて、昨今の情勢を見ますと、地震や集中豪雨といった大きな災害が各地で発生しております。また、少子高齢化による人口減少や社会保障費増大といった社会全体のバランスが急速に変化しています。このような状況下で、福智町においては災害に強いまちづくり、将来を担う若者が住み続けたいまちづくりを、町民の皆さまとともに考え、取り組んでまいり所存です。

今後も福智町議会は、議決機関・監査機関としての役割はもとより、山積する諸課題に議会一丸となって全力で取り組んでまいりますので、町民の皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

福智町議会
議長 矢野 博文

▶ 議会運営委員会

議会日程の調整や会議規則、委員会について協議

委員長 尾崎 さつき 副委員長 堀江 政洋

委員 石谷 光信・橋本 騰馬・木戸 勝正・高津 鶴己

▶ 総務文教常任委員会

総務・議会・企画・財政・税務・教育などについて協議

委員長 木戸 勝正 副委員長 石谷 光信

委員 渡邊 文敏・楠木 静則・木村 幸治・浦田 光由

▶ 厚生常任委員会

保健・医療・福祉・介護などについて協議

委員長 堀江 政洋 副委員長 尾崎 さつき

委員 属 紀三嗣・田畀 みゆり・小松 繁信・矢野 博文

▶ 産業建設常任委員会

建設・住宅・農業などについて協議

委員長 橋本 騰馬 副委員長 沼口 富生

委員 高津 鶴己・日比生 洋一・原田 幸美・皆川 高司

尾崎 さつき 6
伊方／昭和36年5月5日生



小松 繁信 5
上野／昭和28年5月26日生



橋本 騰馬 4
金田／昭和49年1月8日生



石谷 光信 3
伊方／昭和24年5月31日生



田畀 みゆり 2
伊方／昭和30年8月19日生



属 紀三嗣 1
金田／昭和52年10月22日生



楠木 静則 12
伊方／昭和29年1月11日生



堀江 政洋 11
弁城／昭和33年9月28日生



高津 鶴己 10
伊方／昭和22年5月27日生



渡邊 文敏 9
金田／昭和27年10月13日生



沼口 富生 8
上野／昭和24年2月21日生



木戸 勝正 7
金田／昭和20年7月21日生



矢野 博文 18
神崎／昭和30年8月9日生



浦田 光由 17
金田／昭和26年3月31日生



皆川 高司 16
上野／昭和24年7月15日生



原田 幸美 15
弁城／昭和27年7月25日生



木村 幸治 14
市場／昭和25年9月8日生



日比生 洋一 13
神崎／昭和30年11月17日生



新生議会の顔ぶれ

定数を20人から18人に変更後、迎えた初の福智町議会議員選挙。

4月26日に行われた投開票で18人が出そろい、福智町議会は新たなスタートを切りました。

また福智町議会臨時会が5月15日に行われ、議長に矢野博文氏、副議長に高津鶴己氏を投票で選出。

ここでは、民意を託され町政発展のために活動する、町議会議員のみなさんを写真とともにご紹介します。

麗しく荘厳な山笠、
福智・伊方に集結。

まさに、「麗」。



1 やすらぎ館での山笠競演会には5基の山笠が集合。2 赤坂神社から神輿を担ぎ出す氏子。3 昇き棒を押し合う両山笠。4 力を合わせ急な坂道を登り切った山笠。5 最終日に白髪神社前で奉納された獅子舞と稚児舞。6 獅子に頭を噛まれた子どもは健康に育つと伝えられている。7 士気を高めた笛の音色。8 力を振り絞り、休まずに白髪神社の長い階段を上った氏子。9 大人顔負けの指揮で昇き手を鼓舞する子ども。10 過ぎゆく祭りを惜しむ後ろ姿。



神幸祭期間中、毎年目を引く東古門の「こども神輿」と獅子舞保存会も協力する中古門の「獅子舞・稚児舞奉納」。両子ども会によるこの取組で、子どもたちの満面の笑顔が祭りに彩りを加えます。青年団が中心的に活動する伊方地区で、子どもが楽しむ地域の慣習の一つとして根付いています。



神幸祭に彩り添える
子ども会の神輿と獅子舞

照り付ける太陽が燦々と輝く5月4・5日、伊方地区で「赤坂白髪神社神幸祭」が行われました。この日のために帰郷する人も多いこの祭り。勇壮な昇き手が「オーライヤッサー」と大きな雄叫びを上げながら、暑さに負けない熱気で町内を練り歩きました。初日の夜には、5基の電飾山笠がやすらぎ館に集結し、競演会を開催。煌々と輝く「麗しい」山笠の競演は、町内外から訪れた観衆を魅了。大型連休中の風物詩として、地区全体を盛り上げました。



西流會 | SEIRYUKAI

会長交代を機に山笠人形を賤ヶ岳の戦いから本能寺の変に一新した「西流會」。若い昇き手が多く、祭り全体に活気を与えました。



栄友会 | EIYUKAI

あしらった花が印象的な「栄友会」。中古門地区青年団では、地区外の参加も積極的に受け入れる温かい雰囲気づくりに努めています。



新友會 | SHINYUKAI

新門地区・桑野さん制作の破風が特徴の「新友會」山笠。祭りを楽しみつつ、制作中の事故から教訓を得た、安全第一の運行を心がけました。



後谷山笠同好会 | USHIROTANI

人形飾り以外の工程を自分たちで行った「後谷山笠同好会」。新元号・令和も配置し、時代変遷を表現した個性的な山笠が目を引きました。



童心会 | DOSHINKAI

子どもが主役の「童心会」は小さな力でも動かせるように山笠を軽く設計。今年は外国人参加者も受け入れ、日本文化を広く伝えました。



東和会 | TOWAKAI

頭を垂れる稲穂を表現した馬簾を、伊方地区の山笠で唯一使用する「東和会」。五穀豊穡を祈る春祭りの伝統を重んじた山笠を建立。



誠遊會 | SEIYUKAI

2年ぶりの参加となった「誠遊會」。他地区が日本の合戦絵巻の人形を使用する中、三国志を題材とした珍しい山笠を満を持して披露。



酒友會 | SHUYUKAI

お酒をたしなむ仲間で結成された「酒友会」。キーワードのお酒から発想を得た酒呑童子の人形飾りと深紅の法被が存在感を放ちました。



流れる馬簾は、
「黄金の波」のように。

まさに、「流」。

流福麗

岩屋神社神幸祭



弁 城地区の「岩屋神社神幸祭」が、5月11、12日に行われました。天候に恵まれた2日間、福岡や北九州からも大勢の観客が来訪。昇き手は額の汗を拭うことも忘れ、一心に山笠を押し続けました。2日目には岩屋神社裏に神輿と山笠7基が集合し、競演会を開催。高速の鉦の音とともに、山笠を揺らし馬簾がしなる様は、風に「流れる」波のようでした。各地区5分間で最後の力を振り絞った演技を披露し、五穀豊穡を祈る春祭りの最後を盛大に飾りました。



久六 | KYUROKU

地区子ども会の活動が盛んな「久六」地区。子どもたちの「エンヤヤーッサ」のかけ声とともに元気いっぱいに地区内を練り歩きました。



新町 | SHINMACHI

町内の多くの山笠人形を手がける富田人形の地元「新町」地区の山笠。今年は神輿当番の大役も務め、祭りの中核を担いました。



上弁城 | KAMIBENJO

他地区より福智山麓に近い「上弁城」の山笠。熟練の昇き手と安定した囃子で起伏の激しい総距離16kmを勇猛果敢に移動しました。



迫 | SAKO

高さや横幅の大きさが際立つ「迫」の山笠。地元青年団が活躍し、山笠を上下に揺さぶるなど、若さあふれる練り回しを披露しました。



春田 | HARUDA

地区の平塚さんが人形飾りを手がける「春田」の山笠。珍しい銀の虎をはじめ、地区住民も誇る迫力ある人形飾りの数々を披露しました。



宝珠 | HOJU

「宝珠」の山笠は開きの大きさが特徴。競演会では若い指揮者の力強い鼓舞とともに、活気ある練り回しを披露し、大きな歓声を浴びました。



浄満寺 | JOMANJI

弁城地区の山笠で唯一、金色のボンカン飾りを使用している「浄満寺」の山笠。幅広い世代が団結して、山笠を運行しました。



1 多くの観衆が見守る神幸祭最大の見せ場、山笠競演会。2 祭りの安全を祈祷する神事。3 五穀豊穡を祈る春祭りを象徴するような、田園風景を進む山笠。4 自身の何倍も巨大な山笠を必死に引く子どもたち。5 鉦と太鼓が織りなす囃子が弁城の特徴。6 世代を超える地域の一大行事。7 昇き棒が地面を削り巻き起こる砂煙。8 全地区協力して担いだ神輿。9 地区の練り回しにも注目。10 一条乱れぬ昇き手の動きと連動して大きく揺れる山笠。

日本各地から岩屋神社の「御朱印」を求めてご参拝
寺社に参拝した証である「御朱印」。岩屋神社・神主の手島直和さんは、多くの方に参拝してほしいと、昨年から得意な絵を生かした挿絵付きの御朱印記帳を開始。全国的な話題となり、記帳依頼数も以前の240倍になりました。「参拝者が笑顔になるような御朱印を書いていきたい」と笑顔を見せた手島さん。この機会に、みなさんも岩屋神社を参拝してみたいいかがでしょうか。



pick up 環境衛生係からお知らせ

ごみガードネットの
購入費を町が補助

ごみ袋をカラスなどに破られてお困りのかたは、ごみの散乱を防止する「ごみガードネット」をご利用ください。申し込み順(町予算の範囲内)での購入費補助を行っています。住民課で申請後、業者が自宅まで直接お届けします。申請の際には印鑑をお持ちください。

- 補助額 800円(本人負担860円)
- 対象者 町内在住者(1世帯1枚)

犬の放し飼いやめてください!

問 役場 住民課 ☎ 22-7761

無料調停相談会
家庭内や親族間の争いなどの解決手段の一つに話し合いで円満に解決

盲ろう者通訳・介助員養成研修会
視覚や聴覚、言語機能の障害を重複してもつ盲ろう者のコミュニケーションと移動を支援する通訳介助員を養成する全9回の研修会を開催します。受講料は無料です。

日程 7月6日(土)・7月14日(日)・7月28日(日)・8月3日(土)・8月11日(日)・9月8日(日)・9月14日(土)・9月29日(日)・10月13日(日) 10時~16時

場所 福岡県総合福祉センター
福岡県身体障害者福祉協会
☎ 092-584-6067

介護保険料軽減事業のお知らせ
今年10月から消費税が10%に引き上げられることに伴い、所得段階が第1~3段階の人が負担する介護保険料の基本額に乘じる割合が、段階的に軽減されます。2020年度には、完全に実施される予定です。該当者は、お手元に届く2019年度の介護保険料額決定通知書をご確認ください。

問 福岡県介護保険広域連合本部
☎ 092-643-7055

心配ごと相談

6月15日(土)は司法書士による特別相談を実施します。特別相談は事前予約が必要。相談は無料です。

①日時 6月6日(土) 10時~15時
場所 人権のまちづくり館

②日時 6月13日(土) 10時~15時
場所 公民館方城分館

③日時 6月15日(土) 10時~15時
場所 金田社会福祉センター
問 社会福祉協議会 ☎ 22-6631

補聴器相談

日時 6月14日(金) 9時~10時
場所 役場本庁舎

日時 6月10日(月) 11時~12時
場所 役場方城支所

日時 6月10日(月) 13時~14時
場所 役場赤池支所
問 役場福祉課 ☎ 22-7763

甲種防火管理新規講習

日時 6月27日(木)
9時20分~15時50分
6月28日(金) 9時~16時30分

会場 田川地区消防本部 2階講堂
申込 田川地区消防本部のHPでダウンロードした申込書に必要事項を記入して、同署予防課に提出。

締切 6月21日(金)まで

※土・日・祝日は受付不可。
問 田川地区消防本部 予防課 予防係
☎ 44-6256

県営住宅入居者募集

申請期間 6月26日(土)~7月4日(木)
※案内配布も同期間。
申込手数料は、無料。
案内場所 役場 住宅課ほか
問 県住宅供給公社県営住宅管理部
☎ 092-781-8029

人権擁護委員による相談会

人権擁護委員が、家庭内の悩みやいじめなどの相談に応じます。相談は無料で、秘密は固く守られます。ので、お気軽にご相談ください。

日時 6月6日(土) 10時~15時
場所 人権のまちづくり館
問 田川人権擁護委員協議会
☎ 44-1426



↑6月1日は人権擁護委員の日です。心の中の様々な悩みごとについて相談しませんか。

ふくちオレンジ喫茶

日時 6月23日(金) 10時~11時30分
場所 コスモス診療所2階
費用 100円

問 地域包括支援センター

☎ 28-9502

ほのぼの介護予防教室

日時 6月26日(木)
9時50分~11時15分
場所 方城保健センター
テーマ ヤクルト ウン知育教室
〜腸元気!〜

問 方城在宅介護支援センター
☎ 22-6556

介護支援専門員実務研修受講試験

願書受付 7月2日(木)まで
試験日 10月13日(日)
試験会場 福岡大学・九州国際大学
※申込書はコスモス保健センター、役場福祉課、各支所で配布します。

問 地域包括支援センター
☎ 28-9502

寝具洗濯サービス

65歳以上の高齢者世帯や身体障害のため寝たきり状態の人で、寝具の洗濯が困難な人を対象に※寝具

を1週間預かり、洗濯後納品します。

対象となるものの確認のため、聞き取り調査や審査が行われます。
負担金 648円
申請期限 6月28日(金)
回収 7月17日(木) 納品 24日(木)
問 地域包括支援センター
☎ 28-9502

県巡回事故相談

日時 6月17日(日) 10時~15時
場所 田川市役所
問 交通事故相談所
☎ 092-643-3168

心と体の発達教育相談

3~6歳の子どもの心身の発達について、悩みを持つ保護者を対象とし、教育・福祉などの専門家が個別相談に応じます。相談無料。

日時 8月24日(土) 9時30分~16時
8月25日(日) 9時30分~16時
会場 筑豊教育事務所 2階
申込 6月19日(木)までに学校を通じて町教育委員会へ要申込。
問 筑豊教育事務所教育相談室
☎ 094-825-2603

児童手当「現状届」の提出を

6月以降の児童手当を受給するためには、児童の養育状況や前年の所得を確認する「現状届」の提出が必要です。該当者には用紙を郵送しますので、期限までに提出してください。※期限までに提出がない場合、手当が差し止めされます。

提出期限 6月28日(金)まで

持参品 現況届、印鑑、健康保険証、通帳(口座変更の場合など)その他必要書類
(マイナンバーなど)

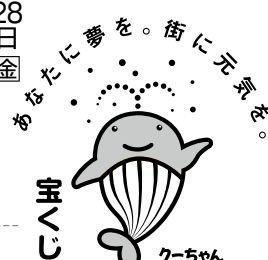
問 役場福祉課 ☎ 22-7763

コミュニティ(宝くじ)助成事業

地域のコミュニティ活動の充実を目的とした助成事業を実施します。

福智町無料法律相談

お気軽にお越しください。
日時 6月21日(金) 13時~16時
場所 人権のまちづくり館
担当 松尾朋弁護士
問 役場総務課 ☎ 22-0555



子育て支援センター
6月イベント情報

就学前のお子さんと保護者が対象。
①は11時開始、それ以外はすべて10時30分開始です。

- ① 絵本読み聞かせ ▶ 6月7日(金)
- ② アロマクラフト ▶ 6月11日(火)
※15組限定。6/7(金)までに要予約。
- ③ 親子リズムあそび ▶ 6月21日(金)
- ④ 赤いふうせんのおはなし会 ▶ 6月25日(火)
- ⑤ 6月誕生会 ▶ 6月28日(金)
※6月生まれば前日までに要予約。
- ⑥ たなばた会 ▶ 7月5日(金)

- 子育てサロンを開放しています。
▶ 月~金 10時~16時

お気軽に遊びに来てください!

問 子育て支援センター ☎ 22-2401



期待に胸膨らむ第二の学校生活を開始

50歳以上の生きがいがづくりの場として開催している高齢者大学が、5月14日から開校しました。年間22回の講義では、日帰りバス研修や著名講師による講演などの特別な企画も実施。今年から新たな専門講座「版画」と「実用書道」が加わり、総勢137名の受講生は、新しい学びとの出会いに心を躍らせています。



↑ 新たに今年から赤池教室で始まった専門講座「版画」教室での講義風景。

子どもが主役 豊作願う金田の春祭り

金田菅原神社の神幸祭が4月13日から2日間行われました。豊作を願うこの祭りは長らく途絶えていましたが、青少年の健全育成を目的に平成9年に復活。子どもが主役の春の風物詩として地域に根付いています。今年も宝見・町部・上金田の3地区が山笠を建立し、囃子と威勢のいいかけ声が春空に響きました。



↑ 大人顔負けの「オーラヤッサ」のかけ声で、元気に地区内を運行（宝見）。

↓ 天候が優れない中でも、昨年同等の販売額を記録。好天時には屋外も盛況に。



陶の里が活気づいた春の恒例催事

上野焼協同組合加盟13窯元による「春の陶器まつり」が4月26日から4日間開催され、約5千人の陶芸ファンが上野を訪れました。各窯の個性豊かな作品が所せましと並び、割引商品が多いことも魅力。来場者は一つひとつ違う釉薬の風合いや感触を確かめるように手に取り、お気に入りの逸品を探していました。

↓ 故・藤本祥鴻氏の作品を前に微笑む妻・藤本鈴子さん㊦と実兄・藤本昭さん。



名書家の渾身の表現による遺作を展示

西日本書美術展で大賞を受賞するなど、多数の入賞歴をもつ書道家・藤本祥鴻氏（赤池）の遺墨展が「ふくちのち」で4月17日から5日間行われました。生前に書き上げた思いのこもる47点を一挙に展示。妻の鈴子さんは「夫が生きた証である書が、多くのかたの目に触れてうれしいです」と感慨深い様子でした。

↓ 今年は選手と来場者の交流時間を例年より長く設け、子どもたちも外国人選手と積極的に対話。



満開の迎藤の藤がまつりを彩る

福岡県の天然記念物に指定されている定禅寺の「迎接の藤」が4月29日の藤まつりに合わせて満開を迎え来場者を喜ばせました。当日はあいにくの空模様でしたが、大型連休中に帰省した家族連れなども多く来訪。一面の薄紫の中、虚無僧による尺八奉納など厳かな祭事が行われ、藤のさらなる長寿を願いました。



↑ 藤棚の下を7人の虚無僧が進んでいく幻想的な世界が多数の来場者を魅了。

↓ 一時は存続が危ぶまれた稚児舞も、今年は昨年以上の12人が参加。



地域一体で守り続ける伝統の稚児舞

南木菅原神社（神崎）の神幸祭が5月2日から2日間行われました。4～15歳の稚児が御旅所やほこらなど6箇所をめぐる練習を重ねた舞を奉納。地区の誰もが一度は体験するこの稚児舞を経て、男性は獅子、女性は笛を担当していきます。親から子へ、地域全体で守られる伝統として今日まで受け継がれています。



もり こうだい
森野 煌大くん②
H29.6.7 生 (金田 平原団地)



もり ことね
森 琴音ちゃん②
H29.6.1 生 (神崎 飯土井)



はたなか とわ
畠中 都羽くん①
H30.6.25 生 (赤池 西町)



よしだ かい
吉田 海翔くん①
H30.6.5 生 (金田 敷島)



しげもり ゆき
重森 結心ちゃん①
H30.6.5 生 (赤池 生力NT)



ありよし きひろ
有吉 樹央くん①
H30.6.1 生 (金田 本町)

HAPPY BIRTHDAY

6 月生まれ

ふくち玉手箱
Fukutama

みんなでつくる
ごきげんなページ“ふくたま”

笑顔募集中!😊

- 申込期限は毎月お誕生月の前月10日(土・日・祝日の場合は翌開庁日)。7月生まれのお子さんは**6月10日**まで写真またはデータを提出してお申込みください。(締切厳守)
- 広報係 ☎22-7766



つつみ なみ
堤 菜々美ちゃん③
H28.6.21 生 (弁城 草場)



こたま あい
児玉 愛桜ちゃん③
H28.6.21 生 (弁城 春田)



くす はら じん
葛原 仁くん③
H28.6.10 生 (弁城 浄満寺)



よしだ はな
吉田 彩花ちゃん②
H29.6.26 生 (弁城 新町)



はやし あい
林 娃里ちゃん②
H29.6.26 生 (上野 今屋敷)



わたなべ らい
渡邊 琥依煌くん②
H29.6.25 生 (赤池 伏原)



ふく とみ かい
福富 海成くん②
H29.6.8 生 (伊方 西古門)

子育て支援センターで緊張の初顔合わせ

→緊張も徐々にほぐれる利用者たち



就学前の親子のふれあいの場として親しまれている「子育て支援センター」。4月12日に利用者と職員の自己紹介と施設紹介が行われ、今年度の活動が本格的に始まりました。昨年度は利用者が1.5倍に増加するなど、町内外で好評です。

青空泳ぐ神崎保育所の手作りこいのぼり

→こいのぼりが泳ぐ姿を見守る園児



神崎保育所の園児が制作したこいのぼりが、4月29日に所内で揚げられました。似顔絵や折り紙、手形などで飾られた3匹のこいのぼりは、園児50人が1週間かけて制作。青空を泳いだ瞬間、園児からは歓声と笑顔があふれていました。

足利尊氏ゆかりの興国寺で花まつり

→丁寧に甘茶を注ぐ「野保保育園児」



お釈迦様の誕生を祝う「花まつり」が5月8日に興国寺で行われました。参拝者は境内に特設された花御堂内の釈迦像に甘茶を注ぎ、無病息災の願いを込めて参拝。感謝の気持ちを胸に口いっぱいに広がる甘みと味わいを堪能していました。

少年野球の方城ヤンキースが初公式戦

→創部時の8人から部員も増加中



昨年創部した少年野球チーム「方城ヤンキース」が5月1日に初の公式戦に挑みました。緊張の中迎えた初大会、力及ばず初戦敗退しましたが、この経験を次の躍進につなげたいと前を向きました。部員募集中! 仲島会長 ☎080-5495-4478

空手道・拳修館の2人が殊勲のメダル

→拳修館で鍛錬に励む植高くん(右)と神田くん



直方市で3月31日に行われた養秀館空手道大会で、植高聖くんが幼年の部で準優勝、神田颯馬くんが中学1年の部で3位に入賞。鍛錬の成果のメダルを手に笑顔を見せました。**部員募集中! 練習日時**▶ 月・火 17時30分～ **場所**▶ 金田小体育館 **☎** 拳修館 ☎090-8763-7977

福智すいとん隊がご当地グルメをPR

→方城すいとん屋「ほろい」女性にも好評



トヨタ自動九州(宮田工場内)で4月14日に開催されたトヨタスプリングフェスタで「方城すいとん」などを販売し、福智町を宣伝しました。正午前には用意していた全てが完売。福智ご当地グルメとして、着実にファンを増やしています。

林タツエさん宅で「人型大根」収穫

→林さんの野菜は地域でも大好評



林タツエさん(金田)宅の畑で、巨大な大根が収穫されました。夫婦で30年以上農作物を育てる林さんでも見たことがないという大きさ。「まるで人のよう」と大根をわが子のように抱えながら、見物に来た隣人とも会話が弾んでいました。

ふくちのち館長がマスターズ陸上で優勝

→短距離走歴6年、25mの自己ベストは26.62秒



ふくちのち館長の井上憲治さんが、5月5日の福岡マスターズ陸上競技選手権大会の男子シニア200mの部で見事優勝しました。28.61秒の好タイムを記録した井上さんは、「今のタイムに満足せず、自分の限界に挑戦したい」と次の九州大会に向け、力を込めました。

その一票が

未来を 決める

告示日(立候補者受付)

6月11日 火 8:30～17:00

6.16

福
智
町

SUN
日

町長選挙

忘れずに投票を!

問 福智町選挙管理委員会 ☎ 22-0555 (役場代表)

投票日: 6月16日 午前7時から午後8時まで



7:00 ▶▶▶ 20:00

期日前・不在者投票期間

6月12日 水 ～ 6月15日 土

8:30～20:00 / 金田保健センター(金田駅裏)

投票所入場券の裏に「宣誓書」が記載されていますので、事前にご自宅などで必要事項を記入していただくと、スムーズに期日前投票が行えます。

投票所

対象地区

第1 投票所 / 金田保健センター ▶ 金田地区、神崎地区

第2 投票所 / 方城中学校 ▶ 伊方地区(一部除く)

第3 投票所 / 方城支所 ▶ 弁城地区、伊方地区の一部

第4 投票所 / 上野小学校 ▶ 上野地区

第5 投票所 / コスモス保健センター ▶ 赤池地区、市場地区

投票できる人

満18歳以上(平成13年6月17日までに生まれた人)で平成31年3月10日までに福智町に転入手続きをし、引き続き福智町に住民基本台帳の登録がある人。

投票所での注意事項

公職選挙では家族や他人の投票に干渉することは禁止されています。投票所内での相談や指示、携帯電話等の使用は禁止されていますのでお止めください。投票で不明な点はお気軽にお尋ねください。

郵便等投票制度

「身体障害者手帳(1級～3級)」もしくは「戦傷病者手帳(特別項症及び第1項症～第3項症)」の交付を受けている人、または「要介護者(要介護5)」の人は郵便で投票できる場合があります。確認などの手続きに時間を要しますので、お早めに福智町選挙管理委員会までお問い合わせください。